

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(2017年7月)

2017年7月13日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況							補足説明	
			8	9	10	11	12	1	2		3
1号機 110万kW (1985.9.18運転)	停止中 第16回定期検査中 定検停止期間:2011.8.6~	第15回 2007.5.4 ~ 2010.8.4 停止期間 2007.5.4 ~ 2010.6.6 (1130日) (原子炉起動2010.5.31)	第16回定期検査による停止!								
2号機 110万kW (1990.9.28運転)	停止中 第12回定期検査中 定検停止期間:2007.2.19~	第11回 2005.9.3 ~ 2006.5.9 停止期間 2005.9.3 ~ 2005.12.25 (114日) (原子炉起動2005.12.22)	第12回定期検査による停止!								
3号機 110万kW (1993.8.11運転)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2007.9.19~	第9回 2006.5.12 ~ 2006.9.15 停止期間 2006.5.12 ~ 2006.7.27 (77日) (原子炉起動2006.7.24)	第10回定期検査による停止!								
4号機 110万kW (1994.8.11運転)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2008.2.11~	第9回 2006.4.9 ~ 2007.1.11 停止期間 2006.4.9 ~ 2006.12.14 (250日) (原子炉起動2006.12.11)	第10回定期検査による停止!								
5号機 110万kW (1990.4.10運転)	停止中 第13回定期検査中 定検停止期間:2012.1.25~	第12回 2006.11.24 ~ 2011.2.18 停止期間 2006.11.24 ~ 2010.11.25 (1463日) (原子炉起動2010.11.18)	第13回定期検査による停止!								
6号機 135.6万kW (1996.11.7運転)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2012.3.26~	第9回 2010.10.31 ~ 2011.3.9 停止期間 2010.10.31 ~ 2011.1.26 (88日) (原子炉起動2011.1.23)	第10回定期検査による停止!								
7号機 135.6万kW (1997.7.2運転)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2011.8.23~	第9回 2010.4.18 ~ 2010.7.23 停止期間 2010.4.18 ~ 2010.6.28 (72日) (原子炉起動2010.6.26)	第10回定期検査による停止!								

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (6月末現在)

6月	0.0%
2017年度累計	0.0%
運転開始後累計	49.7%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (6月末現在)

6月	0
2017年度累計	0
運転開始後累計	87,487,412

④ ドラム缶発生量(本) (6月末現在)

当月発生本数	53
貯蔵庫累積貯蔵本数	29,573
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (2016年度第4四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	13,734
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 従業員登録データ(人) (7月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	793	2,577	51%
	刈羽村	80	254	5%
	その他	128	1,294	22%
	小計	1,001	4,125	78%
県外		128	1,360	22%
合計		1,129	5,485 (3,596*)	-
		6,614		100%
協力企業社数(社)		859		

※7月3日の協力企業構内入構者数

⑦ 来客情報(人) (6月末現在)

	6月	年度累計
地元	882	3,023
県内	675	2,316
県外	561	1,956
国外	40	113
合計	2,158	7,408

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
7月22日	「柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会」の皆さまによる発電所のご視察
7月27日	定例の記者説明会
7月31日~8月4日	IAEA OSARTフォローアップ
8月10日	次回定例所長会見

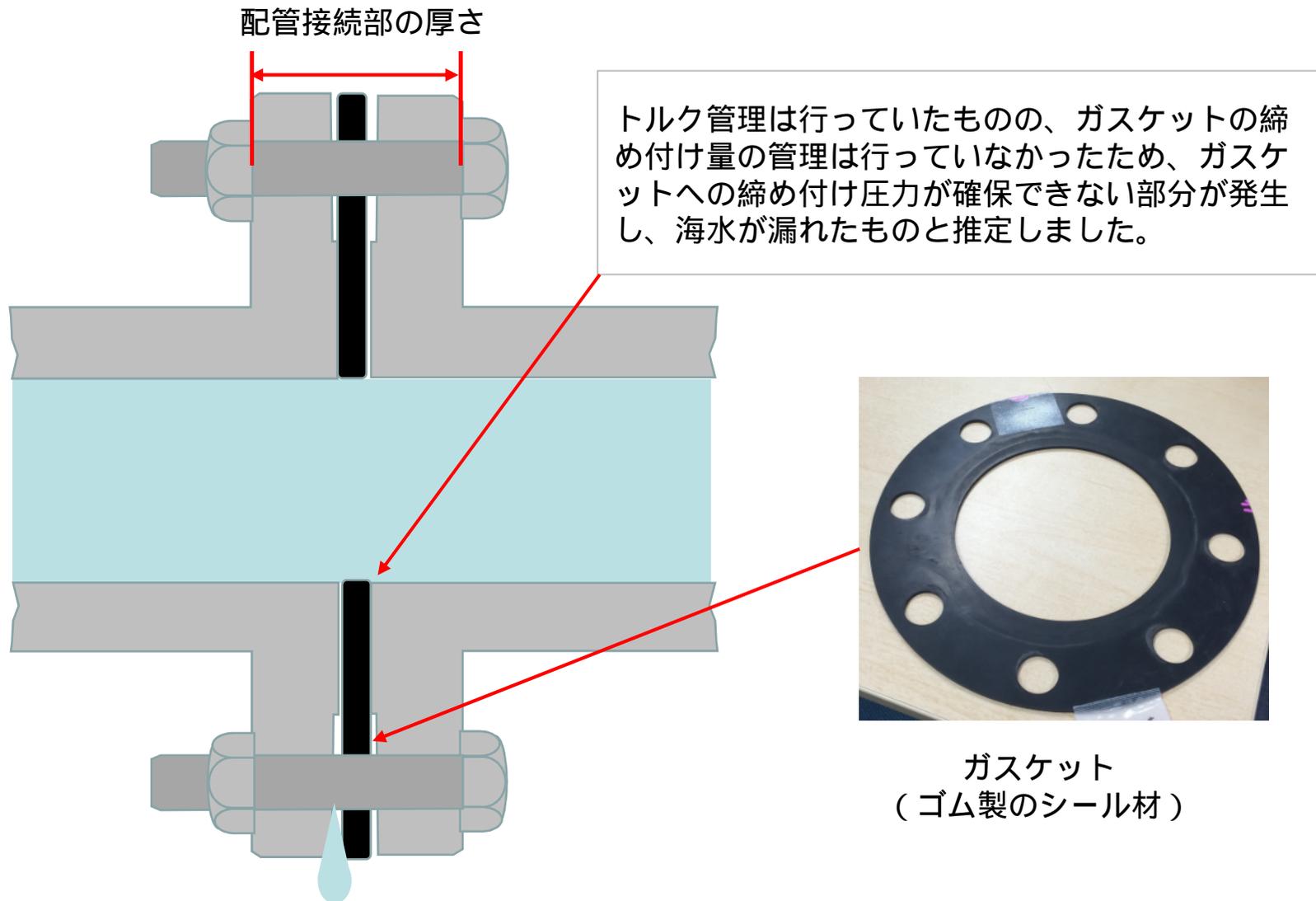
インターネットホームページアドレス
<http://www.tepco.co.jp/kk-np/index-j.html>

東京電力ホールディングス株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）

No.	お知らせ日	号 機	件 名	内 容
	2017年 7月5日	-	第二企業センターの倉庫内（非管理区域）における病人の発生について(区分)	-
	2017年 7月5日	7号機	7号機 タービン建屋（非管理区域）電解鉄イオン供給装置からの海水の漏えいについて（区分）	<p>【発生状況】 2017年7月5日午前10時頃、7号機タービン建屋地下2階（非管理区域）において、電解鉄イオン供給装置点検後の試運転にて漏えい確認を実施していたところ、同装置の配管接続部（フランジ部）から海水（約250リットル）が周辺の床に漏えいしました。</p> <p>その後、同装置の運転を停止したことにより、漏えいは停止しました。</p> <p>本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>【対応状況】 漏えいした海水については、排水処理を実施しました。 （2017年7月5日 お知らせ済み）</p> <p>原因 ・調査の結果、ガスケットの締め付け量が不足していたことを確認しました。 <u>これまでの手順では、配管接続部のボルトを規定トルクにて締め付けを行い、締め付け後の配管接続部の厚さが均一になっていることを確認することとしていましたが、ガスケットの締め付け量の管理を行っていなかったため、ガスケットへの締め付け圧力が確保できない部分が発生し、十分なシール機能を得ることができませんでした。そのため、電解鉄イオン供給装置を運転したところ配管内圧が上昇し、シール機能が不十分な部分から漏えいが発生したものと推定しています。</u></p> <p>ガスケット：配管接続部の気密性を向上させるために使用するゴム製のシール材（厚さ約3mm）</p> <p>対策 ・配管接続部の締め付け時は、配管接続面にガスケットが接触する位置まで締め付け、配管接続部の厚さを測定した後、必要なガスケットへの締め付け圧力が確保出来る位置まで更に締め付けを行い、再度配管接続部の厚さを測定し、ガスケット厚さが約1mm潰れていることを確認する手順に変更することとしました。 また、同装置については、上記手順に従い改めて配管接続の施工を行った後、2017年7月10日に装置の試運転を実施し、配管接続部からの海水漏えいがないことを確認しております。</p>
	2017年 7月12日	2号機	2号機 原子炉建屋（管理区域）防火壁貫通部の防火処置未実施について(区分)	<p>【発生状況】 2017年7月11日、2号機原子炉建屋地下1階および地下5階（管理区域）の階段室において、防火区画として設定している壁の貫通部に対して、防火処置が施されていない箇所が計2箇所あることを確認しました。</p> <p>このため状況調査を行った結果、当該貫通部の状態は、建築基準法に抵触すると判断しました。</p> <p>【対応状況】 当該貫通部については、モルタル詰めによる防火処置を速やかに実施いたします。また、同様な貫通部が発見された場合は、適切に処置を実施してまいります。</p>

7号機 タービン建屋（非管理区域）電解鉄イオン供給装置からの海水の漏えいについて 配管接続部の断面図



IAEA OSARTフォローアップへの対応

フォローアップ調査の概要

- 目的：2015年に行われたIAEA OSARTレビュー(本調査)における推奨・提案事項について、対策の進捗状況を確認いただき、発電所の原子力安全をより一層高めるため、アドバイスをいただく

- 期間：2017年7月31日～8月4日
OSARTフォローアップチーム
 - ・チームリーダーはピーター・タレン氏 (IAEA、本調査時のチームリーダー)
 - ・イギリス、スロバキア、チェコ共和国の4名の原子力分野の専門家で構成
 - ・レビューアーは全て本調査時のメンバーで構成

- 評価活動：改善推奨事項への発電所の対応状況について、書類調査、職員へのインタビューを実施

- ※ OSARTは、Operational Safety Review Team の略
IAEA (国際原子力機関) が、国際的専門家で構成されるチームを編成し、発電所運営上の安全性について評価を実施する

IAEA OSARTレビュー（本調査）

■期間：2015年6月29日～7月13日

■対象号機：6，7号機

■目的：福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ、柏崎刈羽原子力発電所のさらなる安全性、信頼性の向上を目指し、様々な安全対策に鋭意取り組んでおり、その一環で、6，7号機を対象に国際原子力機関（IAEA）による運転安全評価レビューを受審。

■評価：津波対策や新たな対策設備導入による改善を含めたシビアアクシデントに対する対策や緊急時対応訓練について、良好な取り組みであると評価いただいた。

一方、IAEA基準や国際的な知見・経験に基づく評価により、さらなる改善へ向けた助言として、推奨と提案をいただいた。

■IAEAメンバー：ピーター・タレン氏
ミロスラフ・リパー氏
他10名のレビュアーが参加

～ 柏崎刈羽原子力発電所 不適合審議状況(2017年6月審議分)～
(1/3ページ)

表 - 【審議/完了件数】

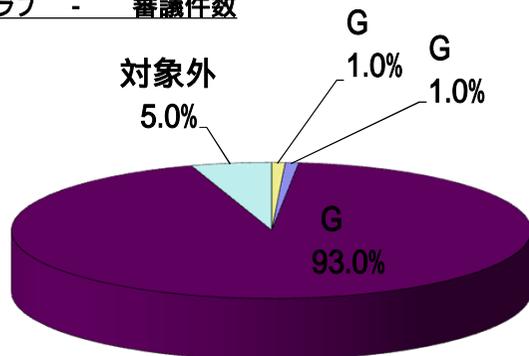
グレード	審議	完了
総計	120	165
As	-	0
A	-	0
B	-	0
C	-	2
D	-	1
G	1	0
G	1	7
G	112	155
対象外	6	-

表 - 【号機別審議件数】

運転状況 グレード	1号機	2号機	3号機	4号機	5号機	6号機	7号機	その他	総計
	定期 検査中								
総計	19	17	12	8	19	19	13	13	120
G	0	0	0	0	0	1	0	0	1
G	0	0	0	0	0	0	0	1	1
G	18	16	12	8	16	18	13	11	112
対象外	1	1	0	0	3	0	0	1	6

(運転状況は2017.6.30現在)

グラフ - 審議件数



*G グレード・対象外が98.0%を占める。

グラフ - 号機別審議件数

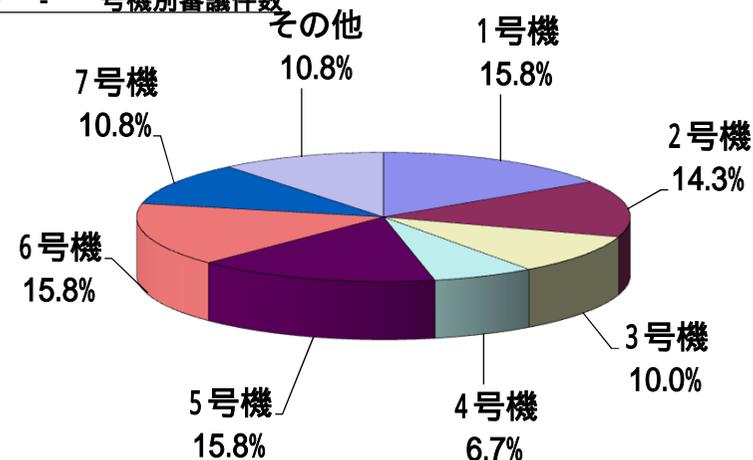


表 - 【月別審議件数(2016年7月～2017年6月)】

グレード	2016年							2017年					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
総計	149	143	154	125	136	117	114	103	138	113	99	120	
G	0	1	1	0	3	0	0	2	0	0	0	1	
G	4	2	3	1	4	1	1	0	1	2	0	1	
G	138	128	143	112	121	106	109	97	127	105	89	112	
対象外	7	12	7	12	8	10	4	4	10	6	10	6	

～ 柏崎刈羽原子力発電所 不適合審議状況(2017年6月審議分)～
(2/3ページ)

表 - a 【新潟県中越沖地震に係わる不適合 月別審議件数(表 - 「審議」の内数・2007年7月～2010年3月)】

グレード	2007年						2008年												2009年					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総計	1420	1156	159	139	106	91	57	77	40	29	26	27	37	33	19	72	20	45	12	8	7	9	6	11
As	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A	32	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B	27	3	0	3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
C	200	77	12	7	13	24	22	14	2	4	4	3	8	5	4	0	1	1	1	0	0	1	0	0
D	1148	1069	146	127	92	67	34	63	38	24	22	24	29	28	15	71	19	44	11	8	7	8	6	11
対象外	3	6	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

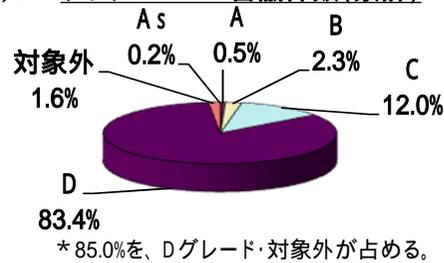
グレード	2009年						2010年			合計
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総計	11	6	10	6	2	9	8	7	21	3686
As	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34
B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36
C	0	1	0	0	0	0	0	0	0	404
D	11	5	10	6	2	9	8	7	21	3190
対象外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12

～ 柏崎刈羽原子力発電所 不適合審議状況 ～ (2002年10月～2017年6月 51,479件)

表 - 【審議/完了件数(2002.10からの累計)】

グレード	審議	完了	未処理
総計	51,479	47,458	2,529
A s	74	73	1
A	169	166	3
B	808	803	5
C	4,285	4,159	126
D	29,771	29,604	167
対象外	585	-	-

グラフ - 審議件数(累計)



グラフ - 月別審議件数

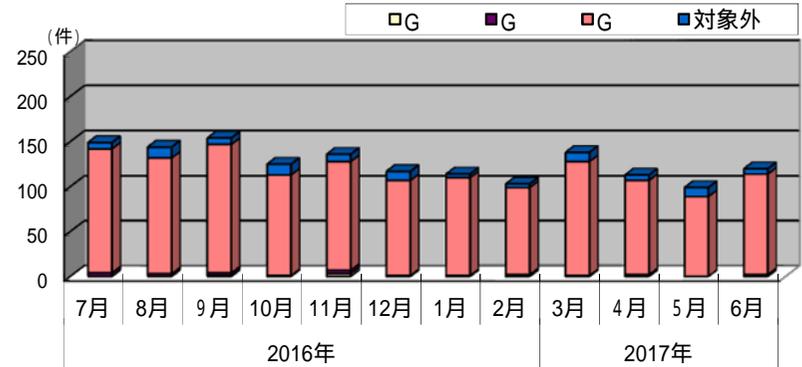
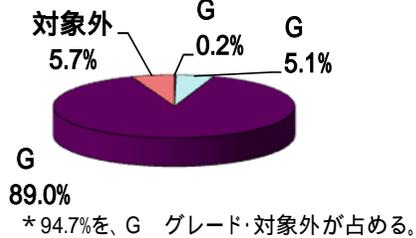


表 - 【審議/完了件数(2010.4からの累計)】

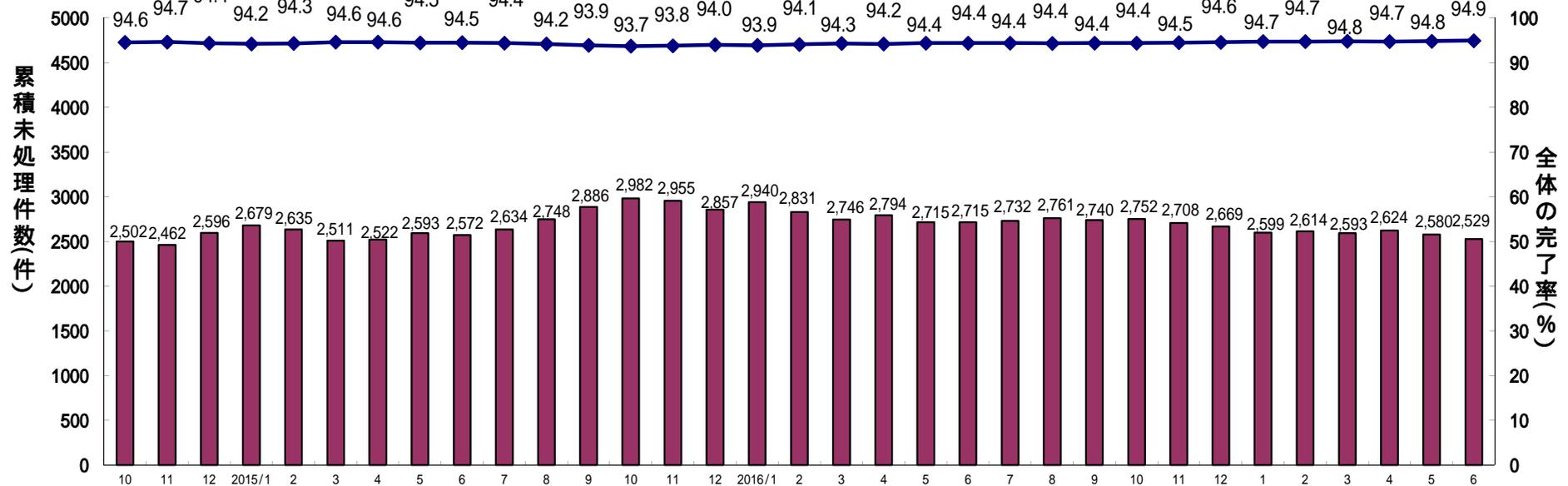
グレード	審議	完了	未処理
G	32	13	19
G	803	702	101
G	14,045	11,938	2,107
対象外	907	-	-

グラフ - 審議件数(累計)



(2017年6月30日現在)

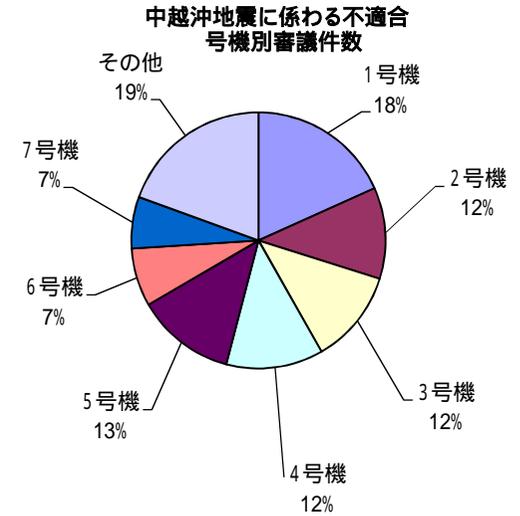
グラフ - 不適合完了率の傾向(2014年10月～2017年6月)



～ 柏崎刈羽原子力発電所 新潟県中越沖地震に係わる不適合の処理状況 ～

【新潟県中越沖地震に係わる不適合 号機別審議件数】(2017年6月30日現在)

運転状況 グレード	1号機	2号機	3号機	4号機	5号機	6号機	7号機	その他	総計
	定期 検査中								
総計	689	434	447	465	472	276	246	733	3,762
～ H22.3.31審議の不適合									
As	1	1	2	1	1	3	1	0	10
A	7	5	3	3	2	2	3	9	34
B	6	4	6	3	3	2	5	7	36
C	70	67	36	74	18	29	31	79	404
D	604	334	392	340	448	239	206	627	3,190
対象外	1	1	0	2	0	0	0	8	12
H22.4.1～H29.6.30審議の不適合									
G	0	0	0	0	0	0	0	0	0
G	0	1	0	0	0	0	0	0	1
G	0	21	8	42	0	0	0	3	74
対象外	0	0	0	0	0	1	0	0	1

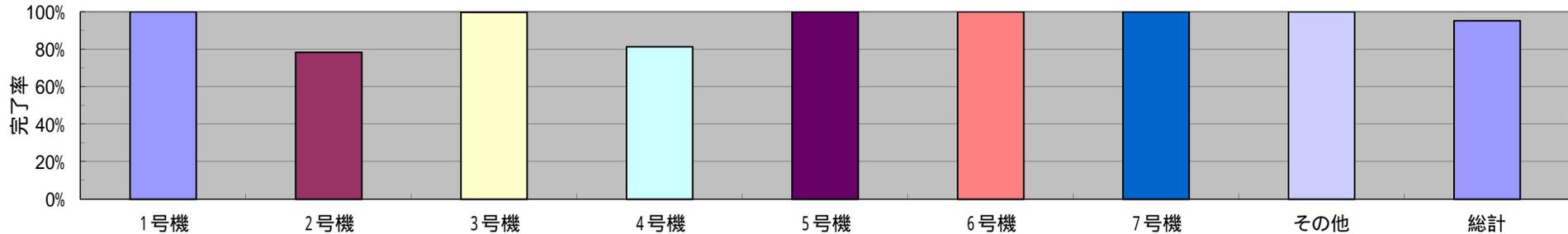


【新潟県中越沖地震に係わる不適合 号機別処理状況】(2017年6月30日現在)

グレード	1号機	2号機	3号機	4号機	5号機	6号機	7号機	その他	総計
完了率	100.0%	78.3%	99.8%	81.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	95.2%
総計	689	340	446	378	472	276	246	733	3,580
～ H22.3.31審議の不適合									
As	1	1	2	1	1	3	1	0	10
A	7	5	3	2	2	2	3	9	33
B	6	4	6	2	3	2	5	7	35
C	70	31	36	40	18	29	31	79	334
D	604	290	391	300	448	239	206	627	3,105
対象外	1	1	0	2	0	0	0	8	12
H22.4.1～H29.6.30審議の不適合									
G	0	0	0	0	0	0	0	0	0
G	0	1	0	0	0	0	0	0	1
G	0	7	8	31	0	0	0	3	49
対象外	0	0	0	0	0	1	0	0	1

不適合処理を完了したものの又はプラントの運転に影響が無いことの評価を完了したものの。

中越沖地震に係わる不適合 号機別処理状況



柏崎刈羽原子力発電所における 安全対策の取り組み状況について

2017年 7月13日

東京電力ホールディングス株式会社

柏崎刈羽原子力発電所

TEPCO

柏崎刈羽原子力発電所6、7号機における規制基準への主な対応状況

2017年7月12日現在

規制基準の要求機能と当所6、7号機において講じている安全対策の例	対応状況	
	6号機	7号機
I. 耐震・対津波機能（強化される主な事項のみ記載）		
1. 基準津波により安全性が損なわれないこと		
（1）基準津波の評価	完了	
（2）防潮堤の設置	完了	
（3）原子炉建屋の水密扉化	完了	完了
（4）津波監視カメラの設置	完了	
（5）貯留堰の設置	完了	完了
（6）重要機器室における常設排水ポンプの設置	完了	完了
2. 津波防護施設等は高い耐震性を有すること		
（1）津波防護施設（防潮堤）等の耐震性確保	完了	完了
3. 基準地震動策定のため地下構造を三次元的に把握すること		
（1）地震の揺れに関する3次元シミュレーションによる地下構造確認	完了	完了
4. 安全上重要な建物等は活断層の露頭がない地盤に設置		
（1）敷地内断層の約20万年前以降の活動状況調査	完了	完了
II. 重大事故を起こさないために設計で担保すべき機能（設計基準） （強化される主な事項のみ記載）		
1. 火山、竜巻、外部火災等の自然現象により安全性が損なわれないこと		
（1）各種自然現象に対する安全上重要な施設の機能の健全性評価	完了	完了
（2）防火帯の設置	工事中	
2. 内部溢水により安全性が損なわれないこと		
（1）溢水防止対策（水密扉化、壁貫通部の止水処置等）	工事中	工事中

: 検討中、設計中
 : 工事中
 : 完了

柏崎刈羽原子力発電所6、7号機における規制基準への主な対応状況

2017年7月12日現在

規制基準の要求機能と当所6、7号機において講じている安全対策の例	対応状況	
	6号機	7号機
3. 内部火災により安全性が損なわれないこと		
(1) 耐火障壁の設置等	工事中	工事中
4. 安全上重要な機能の信頼性確保		
(1) 重要な系統(非常用炉心冷却系等)は、配管も含めて系統単位で多重化もしくは多様化	既存設備 ^{※1} にて対応	既存設備 ^{※1} にて対応
5. 電気系統の信頼性確保		
(1) 発電所外部の電源系統多重化(3ルート5回線)	既存設備 ^{※1} にて対応	既存設備 ^{※1} にて対応
(2) 非常用ディーゼル発電機(D/G)燃料タンクの耐震性の確認	完了	完了
Ⅲ. 重大事故等に対処するために必要な機能		
1. 原子炉停止		
(1) 代替制御棒挿入機能	既存設備 ^{※1} にて対応	既存設備 ^{※1} にて対応
(2) 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能	既存設備 ^{※1} にて対応	既存設備 ^{※1} にて対応
(3) ほう酸水注入系の設置	既存設備 ^{※1} にて対応	既存設備 ^{※1} にて対応
2. 原子炉冷却材圧力バウンダリの減圧		
(1) 自動減圧機能の追加	完了	完了
(2) 予備ボンベ・バッテリーの配備	完了	完了
3. 原子炉注水		
3.1 原子炉高圧時の原子炉注水		
(1) 高圧代替注水系の設置	工事中	工事中
3.2 原子炉低圧時の原子炉注水		
(1) 復水補給水系による代替原子炉注水手段の整備	完了	完了
(2) 原子炉建屋外部における接続口設置による原子炉注水手段の整備	完了	完了
(3) 消防車の高台配備	完了	

※1 福島第一原子力事故以前より設置している設備

柏崎刈羽原子力発電所6、7号機における規制基準への主な対応状況

2017年7月12日現在

規制基準の要求機能と当所6、7号機において講じている安全対策の例	対応状況	
	6号機	7号機
4. 重大事故防止対策のための最終ヒートシンク確保		
(1) 代替水中ポンプおよび代替海水熱交換器設備の配備	完了	完了
(2) 耐圧強化ベントによる大気への除熱手段を整備	既存設備 ^{※1} にて対応	既存設備 ^{※1} にて対応
5. 格納容器内雰囲気冷却・減圧・放射性物質低減		
(1) 復水補給水系による格納容器スプレイ手段の整備	既存設備 ^{※1} にて対応	既存設備 ^{※1} にて対応
6. 格納容器の過圧破損防止		
(1) フィルタベント設備(地上式)の設置	性能試験終了 ^{※2}	性能試験終了 ^{※2}
(2) 代替循環冷却系の設置	工事中	工事中
7. 格納容器下部に落下した溶融炉心の冷却(ペDESTAL注水)		
(1) 復水補給水系によるペDESTAL(格納容器下部)注水手段の整備	既存設備 ^{※1} にて対応	既存設備 ^{※1} にて対応
(2) 原子炉建屋外部における接続口設置によるペDESTAL(格納容器下部)注水手段の整備	完了	完了
(3) コリウムシールドの設置	完了	完了
8. 格納容器内の水素爆発防止		
(1) 原子炉格納容器への窒素封入(不活性化)	既存設備 ^{※1} にて対応	既存設備 ^{※1} にて対応
9. 原子炉建屋等の水素爆発防止		
(1) 原子炉建屋水素処理設備の設置	完了	完了
(2) 原子炉建屋水素検知器の設置	完了	完了
10. 使用済燃料プールの冷却、遮へい、未臨界確保		
(1) 使用済燃料プールに対する外部における接続口およびスプレイ設備の設置	完了	完了

※1 福島第一原子力事故以前より設置している設備

※2 周辺工事は継続実施

柏崎刈羽原子力発電所6、7号機における規制基準への主な対応状況

2017年7月12日現在

規制基準の要求機能と当所6、7号機において講じている安全対策の例	対応状況	
	6号機	7号機
11. 水源の確保		
(1) 貯水池の設置	完了	完了
(2) 重大事故時の海水利用(注水等)手段の整備	完了	完了
12. 電気供給		
(1) 空冷式ガスタービン車・電源車の配備(7号機脇側)	工事中	
(2) 緊急用電源盤の設置	完了	
(3) 緊急用電源盤から原子炉建屋への常設ケーブルの布設	完了	完了
(4) 代替直流電源(バッテリー等)の配備	工事中	完了
13. 中央制御室の環境改善		
(1) シビアアクシデント時の運転員被ばく線量低減対策(中央制御室ギャラリー室内の遮へい等)	工事中	
14. 緊急時対策所		
(1) 5号機における緊急時対策所の整備	工事中	
15. モニタリング		
(1) 常設モニタリングポスト専用電源の設置	完了	
(2) モニタリングカーの配備	完了	
16. 通信連絡		
(1) 通信設備の増強(衛星電話の設置等)	完了	
17. 敷地外への放射性物質の拡散抑制		
(1) 原子炉建屋外部からの注水設備(大容量放水設備等)の配備	完了	

柏崎刈羽原子力発電所における安全対策の実施状況

2017年7月12日現在

項目	1号機	2号機	3号機	4号機	5号機	6号機	7号機
I. 防潮堤（堤防）の設置	完了※4				完了		
II. 建屋等への浸水防止							
(1) 防潮壁の設置（防潮板含む）	完了	完了	完了	完了	海拔15m以下に開口部なし		
(2) 原子炉建屋等の水密扉化	完了	検討中	工事中	検討中	完了	完了	完了
(3) 熱交換器建屋の浸水防止対策	完了	完了	完了	完了	完了	-	
(4) 開閉所防潮壁の設置※3	完了						
(5) 浸水防止対策の信頼性向上（内部溢水対策等）	工事中	検討中	工事中	検討中	工事中	工事中	工事中
III. 除熱・冷却機能の更なる強化等							
(1) 水源の設置	完了						
(2) 貯留堰の設置	完了	検討中	検討中	検討中	完了	完了	完了
(3) 空冷式ガスタービン発電機等の追加配備	完了					工事中	工事中
(4) -1 緊急用の高圧配電盤の設置	完了						
(4) -2 原子炉建屋への常設ケーブルの布設	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了
(5) 代替水中ポンプおよび代替海水熱交換器設備の配備	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了
(6) 高圧代替注水系の設置	工事中	検討中	検討中	検討中	工事中	工事中	工事中
(7) フィルタベント設備（地上式）の設置	工事中	検討中	検討中	検討中	工事中	性能試験終了※2	性能試験終了※2
(8) 原子炉建屋トップベント設備の設置※3	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了
(9) 原子炉建屋水素処理設備の設置	完了	検討中	検討中	検討中	完了	完了	完了
(10) 格納容器頂部水張り設備の設置	完了	検討中	検討中	検討中	完了	完了	完了
(11) 環境モニタリング設備等の増強・モニタリングカーの増設	完了						
(12) 高台への緊急時用資機材倉庫の設置※3	完了						
(13) 大湊側純水タンクの耐震強化※3	-				完了		
(14) 大容量放水設備等の配備	完了						
(15) アクセス道路の多重化・道路の補強	完了				工事中		
(16) 免震重要棟の環境改善	工事中						
(17) 送電鉄塔基礎の補強※3・開閉所設備等の耐震強化工事※3	完了						
(18) 津波監視カメラの設置	工事中				完了		
(19) コリウムシールドの設置	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	完了	完了

※2 周辺工事は継続実施

※3 当社において自主的な取り組みとして実施している対策

※4 追加の対応について検討中

今後も、より一層の信頼性向上のための安全対策を実施してまいります。

<参考> 柏崎刈羽原子力発電所6、7号機における主な自主的取り組みの対応状況

2017年7月12日現在

	対応状況	
	6号機	7号機
Ⅲ. 重大事故等に対処するために必要な機能		
6. 格納容器の過圧破損防止		
(1) フィルタベント設備(地下式)の設置	工事中	工事中
9. 原子炉建屋等の水素爆発防止		
(2) 格納容器頂部水張り設備の設置	完了	完了
(4) 原子炉建屋トップベント設備の設置	完了	完了
10. 使用済燃料プールの冷却、遮へい、未臨界確保		
(1) 復水補給水系による代替使用済燃料プール注水手段の整備	既存設備 ^{※1} にて対応	既存設備 ^{※1} にて対応
11. 水源の確保		
(2) 大湊側純水タンクの耐震強化	完了	
12. 電気供給		
(1) 空冷式ガスタービン車・電源車の配備(荒浜側高台)	完了	
(2) 緊急用電源盤の設置	完了	
(3) 緊急用電源盤から原子炉建屋への常設ケーブルの布設	完了	完了
14. 緊急時対策所		
(1) 免震重要棟の設置	完了	
(2) シビアアクシデント時の所員被ばく線量低減対策(免震重要棟内の遮へい等)	工事中	

※1 福島第一原子力事故以前より設置している設備

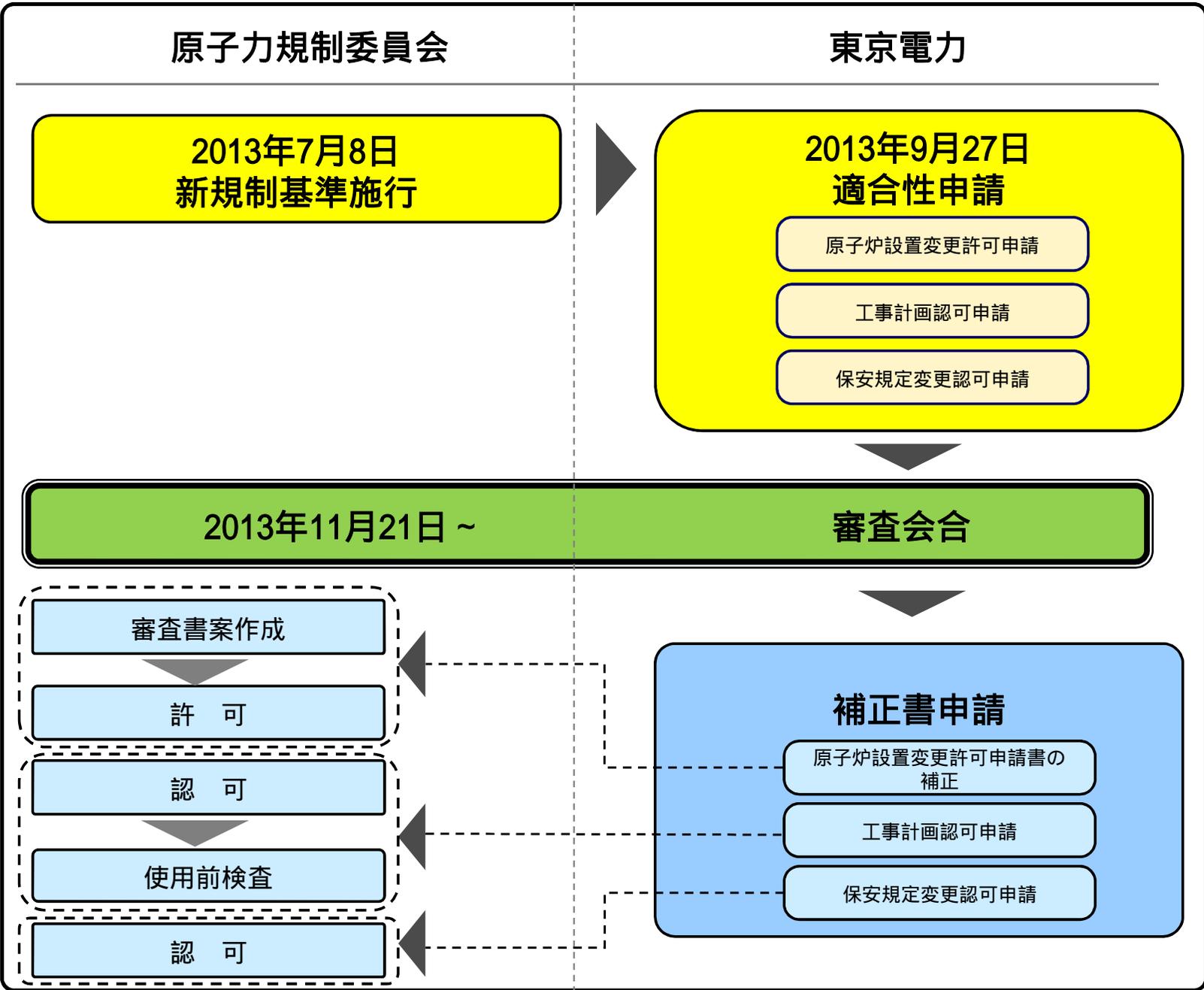
柏崎刈羽原子力発電所 6、7号機の 新規制基準への適合性審査の状況について

2017年7月13日

東京電力ホールディングス株式会社

柏崎刈羽原子力発電所

審査の流れについて



地震・津波等の審査状況

2017年7月12日現在

主要な審査項目		審査状況
地質・地盤	敷地周辺の断層の活動性	済
	敷地内の断層の活動性	済
	地盤・斜面の安定性	済
地震動	地震動	済
津波	津波	済
火山	対象火山の抽出	済

地震・津波等の審査状況

- 当社に関わる審査会合は、2017年7月12日までに32回行われています。
- 原子力規制委員会による追加地質調査に関わる現地調査が行われています。
 - ・ 1回目：2014年 2月17日、18日
 - ・ 2回目：2014年 10月30日、31日
 - ・ 3回目：2015年 3月17日
- 2017年6月16日に原子炉設置変更許可申請に係る補正書を提出いたしました。
- 至近の状況として2017年7月6日に新規制基準に係る審査書類の信頼性向上のための取り組み結果について審査会合を行っております。

プラントの審査状況

2017年7月12日現在

主要な審査項目		審査状況
設計基準 対象施設	外部火災（影響評価・対策）	済
	火山（対策）	済
	竜巻（影響評価・対策）	済
	内部溢水対策	済
	火災防護対策	済
	耐震設計	済
	耐津波設計	済
重大事故 等対処施設	確率論的リスク評価（シーケンス選定含）	済
	有効性評価	済
	解析コード	済
	制御室（緊急時対策所含）	済
	フィルタベント	済

プラントの審査状況

- 当社に関わる審査会合は、2017年7月12日までに116回行われています。
- 原子力規制委員会によるプラントに関わる現地調査が行われています。
 - ・ 1回目：2014年 12月12日
 - ・ 2回目：2016年 7月22日
 - ・ 3回目：2017年 2月16日
- 2017年6月16日に原子炉設置変更許可申請に係る補正書を提出いたしました。
- 至近の状況として2017年7月6日に新規制基準に係る審査書類の信頼性向上のための取り組み結果について審査会合を行っております。